

住宅施策は、国の大きな方針から落とし込まれています。 そこをしっかりと把握し、未来に向かって何をしていくべきかを考えましょう！

第Ⅰ部：これから注目の住宅行政の動向

行政動向

国が進める住宅行政の方向とは？全体像を知る！

住宅に関わる国の大きな戦略のもと、今の流れがあります。この行政動向の全体像をきちんと把握し、自社が取り組まねばならない内容を理解していただきます。

また、【税制・補助金】の動向と工務店が注目するべきものも解説いたします。

講師：清水英雄事務所株式会社 代表取締役

清水 英雄 氏

省エネ

工務店がおこなうべき省エネとは？

住宅の性能は「ゼロエネルギー」が標準となります。この流れに向けて、ハード面・ソフト面それぞれの技術と家づくりについて探るとともに、工務店が今後何に取り組んだらいいかを解説します。

講師：(財)建築環境・省エネルギー機構住宅研究部

由本 達雄 氏

建築環境・省エネルギー機構住宅研究部長、日本サステナブル建築協会事務局長を兼任。住宅の省エネ基準の策定支援及び普及として、気密測定技能者、シックハウス対策、住宅性能表示などに携わる。また、健康維持増進住宅研究委員会、LCCM住宅、CASBEEの研究及び評価員の育成など、住宅の室内外の省エネルギーや環境に係る業務を実施。

第Ⅱ部：テーマ別工務店戦略を考える

戦略のまとめ

これからの工務店の戦略

住宅行政の動向を捉えた上で、今工務店が向かうべき方向性、取るべき行動、そして持つべき哲学を大局的な見地から解説します。



住宅産業塾 塾長

長井 克之

住宅会社の営業所長などを歴任後、住宅ビジネスコンサルタントとして独立。現在CS(顧客満足)の伝道者。大手ハウスメーカーからホームビルダー・工務店・設備・資材メーカーなど多くの企業にて経営指導や人材育成支援、講演などを行っており、実態に即したきめ細かな指導に対して高い評価を得ている。住宅ビジネスに関する分析・提言を行うための住宅産業塾を主宰。

健康

工務店が実現すべき健康・安心な住まいとは？

住まいはそこに住む人の健康にも大きく影響します。大手住宅メーカーも取り組み始めた“健康”について、高齢者から乳幼児に至るまでの健康そして安全な暮らしを実現するために、これからの工務店の役割を解説します。

講師：早稲田大学創造理工学部建築学科 教授

田辺 新一 氏

早稲田大学大学院博士課程修了後、デンマーク工科大学暖房空調研究所、カリフォルニア大学バークレー校環境計画研究所、お茶の水女子大学生活科学部助教授などを経て現職。米国暖房冷凍空調学会R.G.Nevins賞受賞、空気調和・衛生工学会賞受賞、日本環境感染学会賞など多数の功績。厚生労働省シックハウス検討会、省エネ法改正、国営省健康維持増進住宅委員会などを歴任。

リフォーム

工務店が目指すべきリフォームとは？

様々な業界が参入しているリフォーム産業において、工務店は今何に取り組む、どのようなビジネスシステムを構築すべきなのか。強みを活かした仕組みづくりとは何かを解説します。

講師：住宅産業塾 技術コンサルタント

永元 博 氏

大手住宅メーカーで設計、積算、原価管理、運用指導などを経て、技術部門の責任者を歴任。その後リフォーム部門で在来木造、ツーバイフォー、マンションなどの事業統括管理などを担当。現在「住宅価値創造研究所」を設立し1級建築士事務所として活動するとともに、住宅産業塾のリフォームビジネス構築、原価・コスト、設計などのコンサルタントとして活動。



中古住宅流通

工務店が取り組むべき中古住宅流通ビジネスとは？

国の中古住宅流通への取り組み姿勢は、これまでの新築からの転換を大きく示唆しております。これからのストックビジネスの拡大において、ワンストップサービスへの対応と工務店の役割を解説します。

講師：清水英雄事務所株式会社 代表取締役

清水 英雄 氏

住宅・建築物の省エネ・低炭素化をおこない持続可能な社会作りを目指し、企業へのコンサルティングや行政・団体などの委員会にてアドバイザーをおこなう。国土交通省不動産流通市場活性化フォーラム委員、(財)ベタリーピング住宅インフィル・リフォーム懇談会WG委員、(財)建築環境・省エネルギー機構(IBECC)CASBEE、自立循環型住宅、省エネ政策サポート普及支援活動などに携わっている。



行政の動向をきちんと理解したうえで、自社の取るべき戦略を客観的に考える機会となります。